



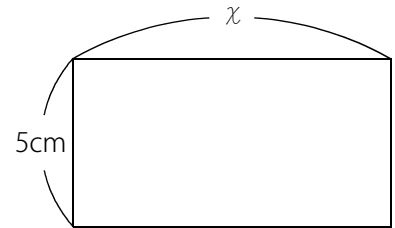
## 例題と解説

### 例題 1

右図のような長方形があり、縦の長さは5cm、横の長さを $x$ 、面積を $y$ とします。

このとき、 $5 \times x = y$  となります。

- (1)  $x=2$ のとき、 $y$ はいくつになりますか。
- (2)  $x=4$ のとき、 $y$ はいくつになりますか。
- (3)  $x=6$ のとき、 $y$ はいくつになりますか。
- (4)  $x=8$ のとき、 $y$ はいくつになりますか。
- (5)  $x=10$ のとき、 $y$ はいくつになりますか。



答え (1) 10 (2) 20 (3) 30 (4) 40 (5) 50

### [例題 1 の解説]

式の形が同じで数字だけが変わる場合は数のかわりに  $x$  や  $y$  を使った式で表すことができます。

- (1)  $x=2$ のとき、 $5 \times 2=10$ より  $y=10$ であることがわかります。
- (2)  $x=4$ のとき、 $5 \times 4=20$ より  $y=20$ であることがわかります。
- (3)  $x=6$ のとき、 $5 \times 6=30$ より  $y=30$ であることがわかります。
- (4)  $x=8$ のとき、 $5 \times 8=40$ より  $y=40$ であることがわかります。
- (5)  $x=10$ のとき、 $5 \times 10=50$ より  $y=50$ であることがわかります。



### 例題2

次のとき、 $x$ と $y$ の関係を式に表しなさい。

- (1) 直径が $x$  cmの円のまわりの長さは $y$  cmです。円周率は3.14とします。
- (2)  $x$  kgのリンゴを1.2kgの箱に入れたところ全体の重さは $y$  kgです。
- (3) 1本120円のボールペンを $x$ 本と1冊250円のノートを1冊買ったところ合計代金は $y$ 円でした。
- (4)  $x$  円の商品を買って1000円しはらったところ、おつりは $y$ 円でした。

答え (1)  $x \times 3.14 = y$  (2)  $x + 1.2 = y$  (3)  $120 \times x + 250 = y$  (4)  $1000 - x = y$

[例題2の解説]

- (1)  $x \times 3.14 = y$
- (2)  $x + 1.2 = y$
- (3)  $120 \times x + 250 = y$
- (4)  $1000 - x = y$

### ポイントまとめ

- ・式の形が同じで数字だけが変わる場合は数のかわりに  $\overset{\text{エックス}}{x}$  や  $\overset{\text{ワイ}}{y}$  を使った式で表すことがあります。